



公益財団法人 滋賀県文化財保護協会

Researchers for the region and tomorrow



そのシゴトとソシキ

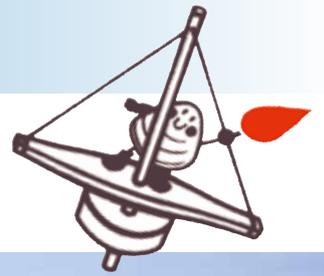
Our Business Outline



1. シゴトの概要 *Outline of work*

1. 文化財の調査と研究

地域の財産である文化財の調査と研究をとおして、地域への貢献に努めています。



2. 公立文化施設の管理と運営

滋賀県立安土城考古博物館（指定管理者）や滋賀県埋蔵文化財センター、琵琶湖文化館などの管理運営を行い、文化財の情報を発信しています。



3. 文化財の調査・研究成果の活用

展示、現地説明会、講演会、遺跡探訪、体験学習や書籍の刊行などをとおして、地域づくり・人づくりに貢献しています。



2. ソシキの概要 *Organization overview*

●拠点と施設

◇本部・事務局（滋賀県埋蔵文化財センター内）

〒520-2122 大津市瀬田南大萱町 1732-2 電話：077-548-9780



詳しくは・・・



◇滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311

近江八幡市安土町下豊浦 6678

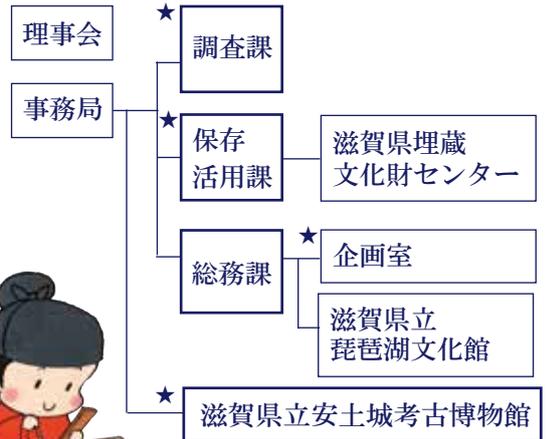
電話：0748-46-2424

詳しくは・・・



●組織図

★が調査員の主な配属部署



●職員数

技術系職員 31名 事務系職員 14名

| | | |
|----|--------------|-----|
| 内訳 | 事務局・調査課・総務課 | 28名 |
| | 滋賀県立安土城考古博物館 | 12名 |
| | 滋賀県埋蔵文化財センター | 3名 |
| | 滋賀県立琵琶湖文化館 | 2名 |

3. シゴトする先輩 *Introduction of staff*

Case1. 宮村 誠二 / *Seiji Miyamura*



- 出身大学： 花園大学
- 現在の所属/シゴトの内容： 調査課/発掘調査担当
- シゴトの上で大事にしていること

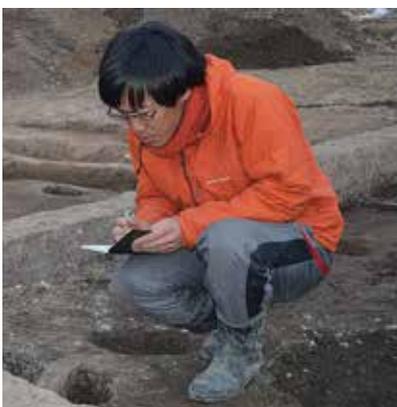


発掘調査はやり直しができません。遺跡からできるだけ多くの情報を取得し、記録するためにその時々ベストを尽くすことを心掛けています。

●学生の皆さんへ

憧れを抱いて飛び込んだ埋蔵文化財関係の仕事ですが、しんどいことの連続です。でも、それら乗り越えていくことで、仕事の面白さに気づくことができます。皆さんも苦勞を恐れず、この世界に飛び込んでみてください。待っています。

Case2. 山口 誠司 / *Seiji Yamaguchi*



- 出身大学： 同志社大学
- 現在の所属/シゴトの内容： 調査課/発掘調査担当
- シゴトの上で大事にしていること



調査員、調査補助員さん、作業員さんとのコミュニケーション、特に情報共有を大事にしています。仕事を円滑に進める上で、最も必要だと考えています。

●学生の皆さんへ

発掘調査では課題を発見し、その解決方法を考えることがとても重要になりますが、学生時代に得た経験が活かしています。時に難しさも感じますが、経験を十分に活かせる仕事だと思います。

Case3. 福井 智樹 / *Tomoki Fukui*



- 出身大学： 滋賀県立大学
- 現在の所属/シゴトの内容： 調査課/発掘調査担当
- シゴトの上で大事にしていること



発掘調査は一人ではできません。調査補助員さんや作業員さんたちとコミュニケーションを図り、皆さんが気持ちよく仕事ができるよう心がけています。

●学生の皆さんへ

この仕事では日々新たな発見で、その中では良い意味で想定外のことが起こります。学生時代に得た知識や経験を活かしながら、新たに遺構や遺物の合理的な解釈を自らしていかなければなりません。大変ですが、やり甲斐がある仕事です。

●調査員・学芸員の出身地

山形県・埼玉県・長野県・静岡県・愛知県・岐阜県・滋賀県・京都府・大阪府・福岡県・長崎県・熊本県

●調査員・学芸員の出身大学

追手門学院大学・関西大学・京都大学・京都府立大学・慶應義塾大学・神戸大学・國學院大學・滋賀大学・滋賀県立大学・中京大学・同志社大学・富山大学・奈良大学・奈良女子大学・花園大学・佛教大学・別府大学・立命館大学・龍谷大学

●調査員・学芸員のシゴト

発掘調査や整理調査、文化財の普及事業、博物館業務に従事するほか、国の科学研究費の共同研究員・研究協力者として活躍する職員も在籍します。また、大学や関係機関から以下のような委嘱を受けるケースもあります。

- ・大学非常勤講師/滋賀県立大学・同志社大学・同志社女子大学・奈良大学・佛教大学・龍谷大学など
- ・博物館等外部委員・研究協力者/国立民族学博物館・国立歴史民俗博物館・滋賀県立琵琶湖博物館など

4. 最近のシゴト Recent works

公益財団法人滋賀県文化財保護協会では、国や県、市町からの依頼を受けて発掘調査・整理調査を実施し、その豊かな成果を、地域の皆さんへお知らせできるように努めています。

新聞・テレビなどを賑やかに飾った最近の成果には、平安時代の港や船の部材が発見された長浜市塩津港遺跡、飛鳥時代の瓦から法隆寺との関係が明らかになった栗東市蜂屋遺跡、日本最古級の土偶（約 13,000 年前）を発見した東近江市相谷熊原遺跡、戦国時代の城下町の様相が明らかになった石田三成の居城である彦根市佐和山城跡などがあります。

Case1. 栗東市 蜂屋遺跡 の発掘調査

寺域を区画する溝跡が検出され、その中から法隆寺式軒瓦等が多量に出土しました。そのことからこの地に法隆寺と深い関係をもつ寺院跡が存在していたことが明らかになりました。



(左) 法隆寺再建の際に主体的に用いられた軒丸瓦です。蜂屋遺跡出土の軒丸瓦のうち、半数以上をこの軒丸瓦が占めています。



(右) 法隆寺若草伽藍に葺かれた瓦と同範です。中房 などにある範傷(=木範に生じた傷)が一致することから、同範と判明しました。

Case2. 彦根市 佐和山城跡 の発掘調査



城下町域において、従来知られていなかった石積みによって築かれた橋台遺構を検出しました。それにより東西方向の道路の存在が推定でき、佐和山城跡の城下町の具体的な様相を明らかにすることができました。

Case3. 普及事業：あの遺跡は今／きて・みて・さわって考古学

当協会では、発掘調査だけでなく、整理調査でも「現地説明会」をしています。夏休みに開催する「あの遺跡は今」では、展示や作業解説、実測体験などで、老若男女の参加者も大興奮！



接合作業に挑戦！くっつくかな？



小学生も実測体験に挑戦！



スタッフさんによる整理作業の生解説